

千葉工業同窓会報

平成19年3月1日

第18号

発行 千葉工業同窓会



祝 創立70周年 夢へ、希望へ、技術の一步で未来が開ける千葉工業高校

J R蘇我駅東口階段、創立70周年スローガン

目次

好日雑感	会長 安藤信吉	2
新しいスタートを	校長 宮越博文	2
同窓会事務局報告	長嶋孝雄	3
同窓会報基金の報告	小林 昶	3
創立70周年記念行事		4
総務委員会からの報告	宮内 潔	6
「同窓会総会」案内		6
支部連絡委員会報告	早尾 茂	7
レクリエーション同好会の活動	海保 保	8
環境整備委員会活動	山本敏雄	9
IT委員会活動	高橋正己	10
「千工マーチ」を再び	白尾健治	11
千葉工業この1年		12
・ラグビー花園への挑戦	・体操部、県大会	
・山岳部関東登山大会	・競技力向上推進校	
・インターンシップ	・企業の技術者と連携	
・大規模改修工事	・風力発電機を設置	

クラス会だより	14
喜寿を迎えて、30年卒E合同親睦会	
37年振りの再会、母校と共に古希	
31EBクラス会、37E3Cクラス会	
還暦のクラス会、32Cクラス会	
約50年ぶりの授業	
多士済々 ある生き様	遠藤百三 19
朗読ボランティア	古川千枝子 20
ハイキングを楽しもう	関口昌利 20
記念誌・DVD作成	山下 昇 21
平成18年度進路状況	22
ホッと・ニュース	22
「竹とんぼ教室」案内	23
バーベキュー大会	土屋孝夫 23
「同窓祭」開催ご案内	24
編集後記	24

好日雑感、創立 70 周年に想うこと

千葉工業同窓会長 安藤信吉 (20M)



昨年 11 月 25 日に千葉工業高校創立 70 周年記念式典と祝賀会が盛大に行われた。

私は、50 周年、60 周年、70 周年記念事業の委員長を受ける光栄に浴した。実際は多くの先生方を中心に保護者の方々と同窓会の方々が企画運営したものである。

式典は当然のこと、その前後のアトラクションも素晴らしいものであり感動的でした。祝賀会は、185 人の参加者を得て盛大かつ楽しく行われた。この式典と祝賀会を 80 周年、100 周年に向けての出発の日だという確信を持つことができた。

50 周年では、段木校長先生の構想で噴水を中心とする中庭が完成した。その後、美的関心と呼び起こそうという意図で、彫刻 3 体、複製の名画を多数購入した。60 周年には渡辺校長先生の発想で坂上に君待橋石碑を製作した。「未来に夢を、夢を形に、技術で平和に貢献しよう」と宇宙をイメージして無限の可能性を在校生に期待したモニュメントを玄関前に作成した。70 周年は環境整備ということで多くの植栽をし、高野慎を記念樹として植樹した。生徒、先生、保護者と同窓会の共同作業が良かったと思う。

学校の歴史には有形と無形の部分があると考えている。有形の部分は記録に残し易いが無形の部分は記録に残し難い。しかし教育の大事な部分は無形の中にあると、私は考えている。そこには人間教育の分野がひろがる。

70 年の歴史の中に、どれ程の先生方と生徒達の熱い想いが渦を巻き、火花となり見事な結晶を作ったことかと思う。どんな生徒、同窓生にも心に残る先生が存在すると私は信じている。千葉工業ありがとう。先生方ありがとう。友人達ありがとう。同窓会の発展と皆様のご健勝を祈念してやまない。

新しいスタートを

千葉工業高等学校 校長 宮越博文



一段と秋の深まった 11 月 25 日 (土)、「創立 70 周年記念式典」を執り行いましたが、同窓会の皆様の多数の方々にご出席を頂きましたことに心から御礼を申し上げます。

式典には、千葉県教育長、千葉市長、県校長協会はじめ P T A、同窓会等の多数のご来賓を迎えて開幕。凛とした雰囲気で行いました。また、記念祝賀会は、ホテルグリーンタワーで約 185 人を超える参加者があり、同窓会副会長・宮内潔氏 (32C) のベテラン司会で盛会、そして検見川・津田沼・生実の校歌を歌って閉幕となりました。ここに改めて式典が無事終了しましたことに感謝いたします。実行委員会・式典を通し、同窓会の方々の「母校に対する温かい気持ちと愛する心」を強く感じ、素晴らしい学校に勤務できた幸せを感じました。更なる飛躍を期して、創立 80 周年に向けて新しいスタートを切りました。

さて、小泉内閣から安倍内閣にバトンが渡されましたが、経済政策に期待をしたいと思います。日本の好景気は「いざなぎ景気」を超えて戦後最長期間を更新中です。今は、バブル崩壊で海底に沈んだ日本経済がやっと水面に浮いた状態で、これから空に向かって元気に飛び出していくところかと考えています。資源のない日本が世界に誇れるのはモノ作り技術です。戦後のモノがないないづくしから立ち上がったのは工業立国の製造業のモノ作りでした。

本校で学んでいる生徒に自分の夢を追いかけて、新たな挑戦をする意気込みを持たせ、自分が作らなければならないモノを自覚して卒業し、人格・技能ともに、さすがは千葉工業高校生であると社会が認めるブランド生の育成に全力で当たります。さらなる同窓会の皆様のご支援をお願い申し上げます。

千葉工業同窓会事務局報告

事務局長
長嶋 孝雄 (42E)

千葉工業同窓会は、県下にある9地域支部が本部・支部間の連携をとりながら、母校への助成活動や、会員の親睦を深めるため、それぞれ意欲的な活動をしています。

平成18年度の本部事務局の主な同窓会活動を紹介します。

- 4月 2日 : 第21回同窓祭、第6回竹とんぼ教室
- 7日 : 入学式
- 9日 : 外房支部総会
- 23日 : 千葉市西支部総会
- 5月 2日 : 常任幹事会
- 7日 : 京葉支部総会
- 14日 : 同窓会幹事会
- 28日 : 市原市支部総会
- 6月 4日 : 北総支部総会
- 11日 : 東葛支部総会
- 18日 : 千葉市東支部総会
- 7月 2日 : 千葉市中支部総会
- 11日 : 70周年記念事業実行委員会
- 8月 1日 : 囲碁交流会
- 8月～1月 : 就業体験学習(インターンシップ)
- 9月12日 : 70周年記念事業実行委員会
- 11月17日 : 植栽作業
- 25日 : 創立70周年記念式典、祝賀会
- 3月 8日 : 卒業式
- 11日 : 南総支部総会
- 19日 : 就業体験学習発表会

平成18年度同窓会予算
収入の部 (単位:円)

科 目	金 額
繰越金	2,511,522
入会金	889,200
名簿代金	864,500
助成金	3,500,000
繰入金	700,000
負担金	169,000
寄付金	5,700
雑収入	78
合 計	8,640,000

支出の部 (単位:円)

科 目	金 額
名簿作成	1,000,000
文化費	400,000
会議費	500,000
通信費	40,000
教育功労	350,000
行事費	800,000
支部助成	1,200,000
事務費	40,000
会報発行	2,500,000
雑費	10,000
渉外費	1,000,000
予備費	800,000
合 計	8,640,000

同窓会報基金の報告と、ご協力依頼

事務局基金担当
小林 昶 (36E)

会報発行を円滑に進めるため、会員の皆様に「同窓会報基金」の寄付をお願いしましたところ、今年も多数の方々からご寄付を賜り、誠に有り難うございました。

会報発行資金の一部に充当させていただいております。本年も引き続きお願いします。

17年度寄付金と18年度繰出金について下記の通りご報告致します。

同 窓 会 報 基 金 特 別 会 計 決 算 報 告

収 入 の 部

(単位:円)

科 目	金 額	記 事
繰越金	88,254	前年度繰越金
寄付金	668,000	16号(16年度寄付金)
寄付金	63,180	16号(17年度寄付金)
合 計	819,434	
繰越金	46,254	前年度繰越金、口座残高
寄付金	656,290	17号(17年度寄付金)
寄付金	58,320	17号(18年度寄付金)
合 計	760,864	

支 出 の 部

(単位:円)

科 目	金 額	記 事
繰出金	710,000	17年度一般会計へ
繰出金	700,000	18年度一般会計へ

- ① 会報16号基金(17.4.1～17.12.25) : 17年度寄付金 66口 63,180円
- ② 会報17号基金(18.2.28～18.3.31) : 17年度寄付金 677口 656,290円
- ③ 会報17号基金(18.4.1～18.12.1) : 18年度寄付金 58口 58,320円

平成18年度

創立70周年記念行事

千葉県工業高等学校



正面玄関



記念式典



植栽された正門右側



記念樹「高野槇」



吹奏楽部 記念演奏会



植樹祭



記念式典



安藤会長



宮越校長

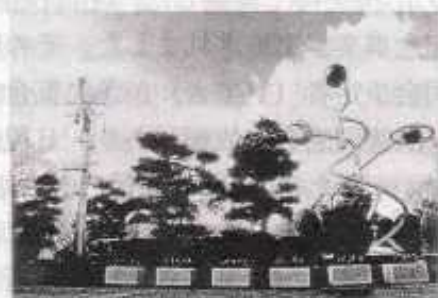


アトラクション(星 奈々)



未来に夢を
夢を形に
技術で
平和に貢献しよう

創立七十周年記念誌
無限



千葉県立千葉工業高等学校
2006年

70周年記念誌



記念祝賀会(乾杯)



記念祝賀会(校歌斉唱)

総務委員会からの報告とお願い

総務委員会

委員長 宮内 潔(32C)



まず母校との窓口関係の活動として、①インターンシップに関しては、母校独自で活動できるようになり同窓会への協力要請はなかった。②関東地区高等学校進路指導協議

大会が千葉県が開催県となって行われ、母校の宮越校長が千葉大会委員長を勤めた関係で、同窓会に企業側シンポジスト2名の要請依頼があり対応した。1名は市原市支部副支部長・川島智氏(36E)、もう1名は同窓生の就職先である企業の勤務課長の協力を得る。結果は大変好評のようでした。③母校校舎の耐震補強工事に関して、植木の一時移動の協力依頼があり、同窓生・佐川一氏(佐川運送・32C)及び山崎虎治氏(山崎造園・32C)の2名(2企業)の応援を得て実施した。④母校創立70周年記念事業が実施されました。その時の祝賀会司会予定者(P.T.A)が急に都合が悪くなり、急遽同窓会に依頼があり、日程的に余裕がなかったため、当総務委員会が対処した。

母校関係以外の活動は例年のように活動しました。同窓生(企業経営者)から新規卒業生の紹介は元より、個人又は、勤務先の都合で失職した同窓生を対象に求人紹介依頼があ

り、まれに求職紹介依頼もありました。同窓会として、同窓生の求人・求職に少しでも寄与できればとの思いがあります。そこで、お願いですが、各地域支部活動において、それらに関する情報があつた時は当総務委員会へ提供いただきたいと希望致します。もちろん、各地域支部に未加入の皆様にも情報提供を切望いたします。

ところで、我が同窓会には他に類を見ない冠たる素晴らしい同窓会だと思っております。これは、一重に同窓生の皆様からの協力の賜物だと信じております。少しでも同窓会活動に参加してほしいと思いますが、その行事に参加できなくても、同窓会活動はできるものです。その良い例が先ほどの情報提供を始めとしたご意見をくださることです。一人でも多くの同窓生が母校と同窓会に関心を持っていただきたいと念じております。

総務委員会の窓口・・・連絡先

電話 0438-23-2608 (FAX 同じ)

携帯 090-4094-5901

【註】連絡は、母校及び各地域支部役員経由でもかまいません。

同窓会総会の開催

5月20日(日)

同窓会会則によると、幹事は、各クラスから選出された1名の者と地域支部の会員数に応じて各地域支部から3名以上10名以内で推薦された者となります。「クラス幹事」については、前々号(16号)で紹介し、「地域支部選出幹事」は、前号(17号)で紹介しましたので、確認してください。('千葉工業高校'のホームページ、同窓会活動に16号、17号が掲載されています)

なお、今回は「3年に1回開催」する総会ですので、幹事だけではなく全ての会員が対象となります。

幹事はもちろん、すべての会員が万障繰り合わせてご参集ください。

日時: 平成19年5月20日(日)

14:00~16:00

会場: 千葉工業高等学校 大会議室
(本館2階)

原稿・情報を、お待ちしております。

多くの皆さんの声を掲載して、身近な同窓会報を目指します。ご意見・提案、情報を事務局・編集委員までお知らせ願います。

広報編集委員会

支部連絡委員会活動この1年

支部連絡委員会
委員長 早尾 茂(26E)



支部連絡委員会は、本部と支部間および支部相互間の情報連絡を円滑に進めるために設置された特別委員会です。

従来は、支部相互間の行事計画や独自の施策等について、情報交換の場となっていました。しかし、単なる情報交換を目的とするだけではなく、18年度の本部幹事会(5月開催)の了承を得て、同窓会の本部と支部の在り方と位置づけ等について、根本的な見直しや意見交換をおこなってみようという取り組みです。

まず、本部役員と支部代表(9支部長)から提意見書を調書により事前報告を求め、要約版としてテーマを4つ(別表参照)に整理して、8月に第1回の委員会を開催し、各委員から約2時間にわたり説明を受けた。提案件数は39件(重複を除く)もあり、討論は改めて行う事とした。

その後、この提案に関する答申の委員長私案(タタキ台)をまとめ、11月に各委員に送付し、改めて12月に第2回の委員会を開催し、大方の意見集約を行った。その結果は、「答申案検討結果」としてまとめることが出来ました。逐一の解説は、紙面の都合上困難ですが概略を報告すると、次のようになる。

No.1 テーマ「本部の在り方」とNo.2 テーマ「支部から本部への要望」

同窓祭の運営、同窓生が困ったときの相談窓口、9支部体制の是非などについて提案されたが、長年経過している実績があるので、提案に対して大半が現状維持となり、一部改善を考慮することに落ち着いた。

No.3 テーマ「支部相互間の周知徹底」

ユニークな行事、地区懇談会、ITによる連絡網などが提案され、大いにプラスに作用し、今後改善が期待できる。

No.4 テーマ「本部総会と支部総会の在り方」

支部総会のマンネリ化、母校以外での行事開催などが提案され、4割程度の改善が図られるとの結果を得た。

感想としては、今まで本部と各支部相互間の交流はしているものの、根本的な議論がなされないまま、長年推移してきたが、この1年の活動の結果、多少なりとも、根っこの部分の改善が図られるものと思う。

同窓会も高齢化しつつあり、また役員の交代もあることから、団塊の世代や60才台の若手同窓生の支部入会を大いに期待し、歓迎しているところです。高齢者の集団としては、地域の老人会とは違って元気澁刺の集団です。ぜひ、お入りください。

支部連絡委員会で審議し答申した結論(件数)

	具 体 的 な テ ー マ	提案件数	改善件数	現状維持
No.1	本部から支部に対する指導体制の在り方 並びに支部への要望事項について	9	2	7
No.2	支部から本部に対する要望事項について	12	3	9
No.3	支部相互間の周知連絡事項について	13	12	1
No.4	本部総会(幹事会)と支部総会(懇親会)の在り方について	5	2	3
合計		39	19	20

平成 18 年度レクリエーション同好会の活動報告

レクリエーション委員会
委員長 海保 保(29E)

【第 8 回ゴルフ大会】と【第 11 回麻雀大会】



平成 18 年度のレクも各地域支部の幹事の皆様のご支援とご協力で盛大に且つ楽しく行うことが出来ました。厚く御礼申し上げます。

ゴルフ大会については、千葉市 3 支部と外房支部が共催する 5 月のコンペがあり、麻雀大会は、千葉市西支部が主催する大会が 6 月に開催されており、各地域支部からご参加を頂いて、それぞれ年 2 回の大会は同好会の皆様方に定着しています。

本部主催のチャリティーゴルフ大会は、平成 18 年 10 月 17 日(火)に長生郡睦沢町にあります「房総カントリークラブ大上ゴルフ場」で開催されましたが、今年で 7 年目を迎える常設会場となっております。

5 年前までは、水曜日に実施したこともありましたが、水と関係があるのでしょうか、雨になることが多かったので、それ以来火曜日に開催することとし、本年も火曜日としたところ、快晴に恵まれご参加頂いた皆様には、大変喜んで頂けたと思います。

今回は、若干人数が少なく 60 名でした。個人優勝は、市原市支部の高石久光(36E)さん、準優勝は松本信行(34M)さん、第三位には、千葉市西支部の武田 清(31M)さんが入賞しました。4 名以上参加された支部の団体賞があり、今年の優勝は、市原市支部が 2 年振りに 2 回目の優勝を飾りました。

一方、麻雀大会では平成 18 年 10 月 28 日(土)に常設会場となっています JR 千葉駅前の「麻雀大都」で開催されました。今回は 36 名(9 卓)が参加され、記録更新を致しました。大変嬉しいことです。

大会は、掛け金なしの点数だけで順位を決めますが、ご参加頂いた同好会のメンバーは大変喜んで頂いております。麻雀大会の個人

優勝は、東葛支部から参加された志賀 薫(32M)さんが初優勝、準優勝は千葉市西支部の布施敏雄(41E)さん、第三位には南総支部の宮内 潔(32C)さんでした。また、団体優勝は千葉市西支部が 2 回目の栄冠でした。

チャリティーゴルフ大会では、参加された皆様からのチャリティーを母校がある千葉市社会福祉協議会へ浄財として継続して寄付をしていましたが、平成 18 年 11 月 25 日に表彰状を頂きました。

趣味をとおして、同窓生同志の親睦が図れることは、大変素晴らしいことだと思っており、今後も両大会は継続して参ります。

平成 19 年度 ゴルフ・麻雀大会開催予定

開催大会名称	開催日時	場所等	世話人
第 9 回ゴルフ大会	19.10.16	大上ゴルフ場	石井孝司
第 12 回麻雀大会	19.10.27	麻雀大都	海保 保



第 8 回チャリティーゴルフ大会参加の皆様



第 11 回麻雀大会、記録更新の 36 名の皆様

環境整備委員会活動について



目的

後輩（在校生）の学習意欲を向上させるために環境を整備することを主な目的として、母校の校庭周辺の雑草及び植栽作業を実施する。

活動内容について

昨年までの「ボランティア委員会」という名称では世間一般の社会奉仕活動と混同するため、5月の同窓会幹事会で「環境整備委員会」と名称変更になりました。

- ① 5月15日付にて、各支部長に園芸に興味（能力）のある委員を1名以上選出していただくよう依頼しました。
- ② 6月18日現在で20名の委員が選出されました。
- ③ 6月30日に第1回の委員会を開催して、役割分担（相談役1名、副委員長3名、常任委員6名、コーディネーター1名：山下先生）を決定して活動開始致しました。
- ④ 10月31日に第2回目の委員会を開催し、70周年記念事業の一環として植栽計画を検討しました。
- ⑤ 11月15日に園芸業者及び委員16名、PTA3名、先生と生徒約30名の

環境整備委員会

委員長 山本敏雄(27C)

得て、正門からモニュメントの付近までの側道に大型プランター（コンクリート製）に、ストック等約350株を植栽した。

- ⑥ 更に、創立70周年記念行事として、秋篠宮の悠仁親王のお誕生に因み「高野槇」をモニュメント付近に植樹した。

今後の在り方について

- ① 今回新設したプランターは、恒久性があるので継続的に植栽する必要がある、年間計画に基づいて定期的な管理が必要になります。
- ② 今後は、人生の礎を築いた青春時代を母校に帰属した自覚（愛校心）と、恩返し精神で環境整備作業に直接・間接的（園芸情報を母校に提供）に多くの皆さんの参加をお願い致します。



11月15日、植栽作業の皆様

囲碁同好会、男の料理教室 ご案内

石井孝司(30E)

囲碁同好会

年4回実施しています。1月および4月は第3火曜日、7月31日（火）には在校生との親睦を深めます。そして10月は第4火曜日（ゴルフ大会と一緒にならないよう）を計画しています。場所は、西千葉囲碁センター（JR西千葉駅下車西口右側徒歩2分）です。

男の料理教室

春（5月の初ガツオ）、夏（8月のスタミナ料理）、秋（11月のキノコ）、冬（2月のアンコウ）と季節感を重視して第3日曜日を計画しています。場所は千葉市本千葉町の福粋（33C 豊村さんの店）です。

いずれも、問い合わせ・参加申し込みは石井（TEL 043-241-2526）まで

IT委員会活動この1年

Masami Takahashi

差出人: 千葉県立千葉工業高等学校 [chiba-th@chiba-c.ed.jp]
 送信日時: 2006年11月15日水曜日 15:12
 宛先: undisclosed-recipients:
 件名: 千葉工業高校からお知らせ

千葉県立千葉工業高等学校OB(同窓会メール登録者)各位

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
 ラグビー部が全国大会千葉県予選の決勝戦に出場!!
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

●本校のラグビー部が、平成18年度第86回全国大会千葉県選考会において、決勝戦に出場することになりました。(31年ぶり)決勝戦の相手高校は、「流経大柏高校」です。

決勝戦で勝利すると、全国大会(花園)に出場が決定します。
 決勝戦は、平成18年11月19日(日) 千葉県柏市「柏の葉公園総合競技場」において、正午(12:00)にキックオフされます。

是非、応援をおねがいします。

なお、試合の様子は、同日千葉テレビにて、19:00~20:30に放映される予定です。

●配信停止をご希望の場合

このメールは、学校宛若しくは同窓会事務局宛にメールアドレス登録の依頼があった方に配信しています。配信停止を希望される方は、「配信停止希望」と書き添え、chiba-th@chiba-c.ed.jp 宛にメールをお送りください。

平成17年9月25日のIT委員会発足キックオフミーティング以来およそ1年半が経過しました。この間委員とのコミュニケーションを電子メールで行いながら作業を進めてきました。主たる作業はメールアドレスの収集及び母校ホームページの充実と情報の配信でした。1年が経過した平成18年10月14日に作業の進捗を確認すべく1回目の会議を母校会議室で実施しました。各支部で収集された電子メールアドレスの合計は80件、全体からすれば小さな数字ですが、確実な一歩が踏み出せたと思います。SP(サービスポイント・支部受信拠点)は先行組みの東葛及び外房支部で拠点の設定を行いました。また、母校ホームページの充実に合わせて新たに千葉市西支部のホームページが開設され南総支部と合わせて2支部でホームページを持つことになりました。今後の課題は支部間の温度差を支部の実情に合わせながら平均化することにあります。私は同窓会活動に便利なツールとしてのITを身近に実感していただく

IT委員会

委員長 高橋正己(320)

お手伝いをしていると考えています。ツールをどう活用するかは各支部の考え方そして取り組み方にあります。有効な手段を実感してください。

平成18年11月15日(水)15:12、私にとっても皆様にとっても嬉しいニュースが飛び込んできました。冒頭に掲げたネット配信1号「ラグビー部が全国大会千葉県予選の決勝に出場」・・・このニュースが母校よりメール配信されました。私にとっては、母校ラグビー部の決勝出場と合わせて、この情報が初めてメール配信されたことで喜びが二重となりました。近い将来、母校での出来事がそして各支部での出来事がリアルタイムに情報配信され共有できる日が近づきつつあることを実感し確信を致しました。

＊ 千葉工業高等学校ホームページ

www.chiba-c.ed.jp/chiba-th/

＊ 千葉市西支部のホームページ

www.chikou-nisi.net/

＊ 南総支部のホームページ

www1.plala.or.jp/chikou/

メールアドレスの開示をお待ちしています。

まだ開示いただいていない方へ、母校のメールアドレスにアクセスしてください。

「こんにちは!〇〇年〇科卒の〇〇△△です」だけで結構です。これで開示されます。

＊ 千葉工業高等学校のメールアドレス

chiba-th@chiba-c.ed.jp

不明な点は同窓会事務局にお問い合わせください。

TEL 043-264-6251

「千工マーチ」を再び

白尾健治 (56歳)

卒業後、時折ふと思い出す高校生活の風景には、演奏を共にした部員の顔と楽譜があり、その背景には必ず千工マーチが流れています。

「千葉工業高校の吹奏楽部を卒業しました」と、冗談めいて挨拶することがあります。千葉工業で本物の音楽に触れ、千葉工業をルーツとすることへの誇りの表れなのだと思います。こうした千葉工業と音楽への想いを持つ者同士のシンボルとなっているのが千工マーチです。

入部したての吹奏楽部で、初めて渡される千工マーチの楽譜。何年も受け継がれてきた書き込みのある手書きの楽譜を見るたびに、伝統の重さを感じたものです。簡潔な構成、素朴な旋律をもつこの曲は、力強さの中にも美しさと謙虚さを備え、千葉工業の校風、工業気質をも象徴する趣のある名曲です。残念ながら、その千工マーチが今、消えようとしています。

楽譜が無くなったわけではありません。少し痛んではいますが楽器もあります。想いをつなぎ、表現する演奏者、つまりは部員が減少し、演奏ができないのです。

このつらい状況は、平成 17 年の冬、卒業後も音楽活動を続けている一人のOBが吹奏楽部を訪れた際、その部員の少なさに驚き、危機感を持って何人かのOBに伝えられました。連絡を受けた者は、「このままではいけない」と、半ば衝動的にあるシナリオを企てます。それは、現役とOBが共に練習や演奏する機会を作り、現役を盛り上げ、いずれは定期演奏会が再開できるよう発展をサポートしようというものです。幸い、演奏の機会は平成 18 年同窓祭と決まり、顧問の先生方の働きかけもあって、すぐに演奏許可を取り付けました。問題は、どのくらいOBが集まるかと言うことです。千工マーチを演奏するには大勢の人数が必要です。しかも楽器が偏って

いても曲になりません。吹奏楽部OB暫定事務局を名乗り、手当たり次第に声をかけました。名簿を作り、OB 通信なるメールで活動の様子を伝えました。いつでも様子がわかるようにと、吹奏楽部OB会のWebサイトや掲示板を立ちあげました。

結果、懸念は全く無用のものでした。千工マーチがやれるならと、参加志願の連絡が日を追って入ってきます。企画に賛同し応援を申し出てくれる仲間がいました。演奏には参加しないのに練習のたびに顔を出し見守ってくれたOBもいます。仕事や家族の都合で参加したいのに出られませんか、お詫びを伝えてきたOBもありました。演奏が出来るほどの人が集まったことはもちろん、仲間と再び演奏するという一点で、年代を超え、これほどの声が集まるとは想いも寄らないことでした。

同窓祭での演奏に漕ぎ着けたとき、その達成感とは裏腹に、演奏が受け入れてもらえるかどうか不安がありましたが、熱烈な歓迎を受けました。演奏が終わった後も拍手は続き、再度のアンコールとして千工マーチが演奏できたことは、感動的な出来事でした。もう一つ、共に演奏する現役の生徒諸君に想いが届くかどうかの不安も、演奏を終えたあとの現役生徒諸君の顔を見て、十分に伝わったと確信しました。これが千工マーチを伝承する人づくりの第一歩となることを願っています。

同窓祭の演奏は、その後、創立 70 周年記念演奏会へと発展します。さらに、想定外のことがひとつ。これほどの演奏ができるのに一回の演奏で終わらせるのは惜しいと、OB会を継続した新たな活動が生まれたことです。千工マーチを演奏したことで、音楽への熱い想いが込み上げてきた結果なのだと思います。

この記事を読んでいただいた卒業生の皆さんから、さらに多くの参加志願の声が届くことを、お待ちしております。

みなさんで、千工マーチを再び。

＊ 写真は、70 周年記念のページで紹介

千葉工業この一年

ラグビー花園への挑戦

平成18年11月19日、柏の葉公園総合競技場において開催された「第86回全国高等学校ラグビーフットボール大会 千葉大会」の決勝戦に進出した。全国予選決勝進出は31年ぶり。

今年度も昨年に引き続き、関東大会出場(17回目)を果たし、一層のチーム強化を図ってきた。目標は5度目の全国大会出場！夏合宿では他県の全国常連校と練習試合を重ね、最終調整は京都市立伏見工業高校に出向き練習試合をした。【試合結果】準々決勝 千工22-19芝浦柏、準決勝 千工24-22佐倉、決勝 千工0-50流経大柏 工業ラグビーは、挑み続ける。
(情報技術科・ラグビー部顧問 秋葉 朋幸 59E)



決勝戦 千工対流経大柏戦

体操部 素人チームで県大会7位

本年度の試合は、平成18年4月24日に開催された「関東大会ブロック予選会」から始まった。チーム4人は、全くの素人からはじめた部員で全員3年生。とても真面目で意欲的に練習に励み、2年生の後半からメキメキと力をつけ、この予選会を2位で通過し県大会に進出。県大会でもよい演技を見せ、入賞はのがしたものの7位と大健闘。生徒のやる気・意欲・向上心には感心させられた。体操部は国体に向けて、競技力向上の指定を受けた。今後も、このような生徒の入部と活躍を期待する。(体育科 鎌田 健)

山岳部 関東登山大会連続出場

平成18年10月6日から8日にかけて、群馬県草津白根山白砂山において開催された「第50回関東高等学校登山大会」に出場した。当日は、台風なみの荒天の中、最悪のコンディションで行われた。出場選手は 電子機械科3年 佐久間龍正 電気科3年 大木貴裕 電子機械科2年 石井駿太郎 染野佑太。(山岳部顧問 増渕 守)

競技力向上推進校に指定される

平成22年(2010年)に千葉県で開催される「第65回国民体育大会(ゆめ半島千葉国体)」にあたり、母校のラグビー部・山岳部・体操部が「競技力向上推進校」に指定された。

インターンシップ(就業体験)

平成18年3月20日、平成17年度実施のインターンシップ報告会を、多数の企業の方々をお招きし母校で開催した。

平成18年8月1日から11月30日、生徒自らが進路決定できるよう、企業29社に生徒69名が就業体験した。

平成18年12月15日、千葉テレビの番組「情報大ステーション」(東京情報大学制作)に「千葉都市モノレールで駅員体験 千葉工業高校のインターンシップ」が放映され、電気科2年 門倉浩太郎君・大子 純君が出演した。

(電子機械科 堂田 生)

1年生に就職ガイダンス

平成18年3月14日、1年生を対象に就職ガイダンスを実施した。いろいろな職種にかかわる専門学校25校が来校。職業に関する詳しい話を聞いたり、実物に触れたり、作業の体験などをした。

企業の技術者と連携した授業

平成18年12月14日、母校電子機械科コンピュータ室において、㈱ラインワークスの技術者 藤代亜矢(H13)さんと電子機械科教諭 青木剛が、ティームティーチング(複数の指導者で習熟度に応じて対応する形態)で「アクチュエータ」の授業を行った。工業高校で学んでいる授業内容が、企業での製品作りに役立っていることを理解させる目的で実施した。溶接ロボットの設計技術者と連携し、実際の設計・製造についてビデオや写真を使い、対話形式で授業を展開した。この授業を経済産業省・文科省をはじめ県内工業高校の教員40名の授業参観もあった。

(電子機械科 青木 剛)



写真を使い熱心に説明をする藤代亜矢さん

特別教室棟大規模改修工事

平成18年7月から19年1月にかけて、特別教室棟等の耐震補強(コンクリート壁の補強・鉄骨ブレスの設置)を行い、あわせて屋上防水・内外塗装等の改修工事が行われました。これにより、平成11年度に管理実習棟部分から始まった本館の耐震補強が完了しました。(事務 大野 三喜夫)



ブレス・スロープも設置



視聴覚室にもブレス

自動車部 1ℓで790Km

平成18年9月30日～10月1日、第26回HONDAエコノパワー燃費競技大会に参加、燃費790Km/lで34位/176台。自動車部製作歴代2位の成績。

風力発電機を設置

平成18年12月、文部科学省が行っている「原子力・エネルギー教育支援事業」で、母校に垂直回転軸タイプの「小型風力発電機」が設置された。出力は1.36kW。前庭のモニメントの隣に設置され、坂道を登ると回転している羽根が見える。

(電気科 島貫 輝)



設置された風力発電機

中学校教員が母校で初任者研修

平成18年11月14日、中学校の教員45名が母校で「初任者研修会」を受けた。これは、千葉市教育委員会の依頼で、工業高校の理解のために行われた。4班に分かれ、工業4科でそれぞれ研修・体験をした。(電気科 島貫 輝)



電子顕微鏡で観察



旋盤による機械工作



電気工事



電子サイコロの製作

クラス会だより

喜寿を迎えて（卒業満 60 年）

金子和男 (21M)

既に残念ながら物故者 13 名、病氣療養中 6 名、その他連絡がつかぬ等今回の参加者 14 名。一泊が無理な状況になり昨年からは毎年昼食会、日帰りで陽気の良い 5 月にしました。

大東亜戦争の最中、今でも胸にあるのは母校・検見川台です。(昭和 20 年 7 月米軍機 B29 千葉空襲により焼失、大ショック) 昭和 19 年、学徒動員ということで、3 年生になる間もなく母校を後に学業を捨て、特攻基地、木更津海軍航空隊の第二海軍航空廠、航空機整備のため、巖根駅から徒歩 15 分位の工具寮の一隅に入りました。後に一部は木更津の先、佐貫地下工場に分散。朝夕起床就寝ラッパ、準軍隊生活、未だ母親が恋しい幼年生の苦しい一年余の生活が(夜になると或る友人は家が恋しく泣きべそをかいていた)、今となっては懐かしい思い出となり、その共に苦しんだ生活がクラス会を続けている所以かと思われます。又ある晩どうして尋ねて来たか、若い航空兵(20~21 才位)5~6 人、私たち学徒の部屋に突然入ってきました。当時は見たこともない市中何処にも無い、水飴やお菓子を持って、そして無邪気に唱歌を歌い、「軍の機密だが、明日特攻機にて出撃する」と言うのです。私達少年と在りし日の故郷を忍んで、父母を思い童心に返り最後の晩を。翌朝には整備工場から出て一列に並んで帽子を振って見送った。昨夜の兵士が操縦席の風防ガラスを開いて、手を振って(燃料は片道だけのこと)飛び立って逝った。あの純真な姿を、今でも何かにつけて思い出し、その都度いつも胸がつまり涙が、現在の平和な生活。一方ある意味では、そんな尊い犠牲の上の豊かさを感じない変わり果てた私達の故郷、日本。

貴様と俺とは同期の桜、同じ千葉工の庭に咲く、咲いた花なら散るのは覚悟、みごと散りましょ……。純真な少年時代に返り、語

らい会い、それぞれ見事な散り方を、今後の生き方等を感じ合い、お互いに健康に留意し、道半ばにて倒れた級友のご冥福と、療養中の級友の早く元気になるよう祈念致し、校歌を歌い来年も元気で再会することを誓って散会。

次回は 19 年 5 月 12 日(土) J R 千葉駅ちかく「千葉スカイウインドス 23F 海燕亭」に内定しています。



昭和 30 年卒 A・B 合同親睦会

染井養治郎 (30E)

若葉が薫る 06 年 4 月 28 日、定時制電気科の第 2 回生として 51 年前の昭和 30 年卒業の面々 22 名が、千葉市の「湾岸食堂ちば」に集い、お互いの再会を喜び合いました。当時の若者も 70 才の古希を迎え、これを機会に有志の働きかけで A・B 両クラス合同第 1 回親睦会の開催へとこぎつけたわけです。

受付では A・K の両君が今も変わらぬさわやかな笑顔で出迎えをしてくれ、会場前のロビーでは開口一番「いやあ、あんた誰だっけ」に始まり、若さの勢いだけで昼も夜もと毎日を励んでいた頃の面影に、半世紀を乗り越えて年輪を刻んできた者同志が、お互いに再会できた喜びを面に出して談笑しあう声と姿があり、本当に良い集まりになりました。

ここ「湾岸食堂ちば」は、名前のとおり千葉中央港に位置し、現在では誰でも利用できる食堂として運用されており、設置に当たっては I 君が計画から運営に至るまで主体的に

力を注いだそうで、設備・スタッフの明るい雰囲気など全て申し分なく、参加者全員が大満足でした。

会は半澤先生をはじめ故人となられた方々のご冥福を祈り進められ、盛り上がったところでS君の「大江戸玉すだれ」の大芸が披露されました。最初息をのんで見つめていた一同も本人が大漁の恵比寿様のごとく玉すだれを背負って場内を移動する姿に、はじめて大きな拍手が沸き起こりどよめきとなりました。

更にカラオケで美声を披露する者、お隣り同志との談笑に夢中です、といったなごやかな様子が満ちあふれ、これらの詳細は全て写真担当のM君が記録してくれました。

なお、体調をくずされている鈴木道三先生には、健康の回復を願って全員による寄せ書きを作り、ご自宅にお届けしました。次回は2年後の同じ頃、この良き会場で又再会し肩をたたき合いたいと思っています。



37年振りの再会

加藤隆史(43E)

クラスメートから「工高で同窓会があるという連絡が入ったんだけど、この時にクラス会をやらないか」という電話が入った。この話にのった私は、「すでに4～5人は連絡済み」との事であったため、クラス会を成功させるには恩師の参加は不可欠であると判断し、記憶を頼りに岩井先生の所に駆け込んだ。

すると、先生から「クラス会開催は大賛成である」との返事でホッとした。先生のお顔はほころんでいるように見えた。「今回のクラス会は少人数だったとしても、今後末永く続

けることで徐々に和を広げられれば最高だ」とも、言っていた。

そんなことから、「同窓祭」に生実校舎第一回卒業生である「昭和43年卒E3A」のクラス会がスタートしました。

最初は、参加人数は6名と少数ではあったが、懐かしい母校での37年振りの再会は何とも言えないものがあり、皆胸が熱くなる思いであった。ひと目見てすぐに名前が判る奴、同級生と言われてもなかなか思い出せない奴など様々であったが、10分も経過した頃には全員のテンションは最高潮に達していた。皆の顔を見れば懐かしさと、嬉しさでほころんでいた。母校には申し訳なかったが、あまりの盛り上がり、皆で途中退席して、二次会・三次会を開催してしまいました。

二次会の席で、クラス会を今後継続・発展させるために名簿を作成しようということになり、役割分担を決め即日作成に取りかかった。その甲斐あって、半年後には名簿に半数以上の連絡先が記入され、その年の秋には14名の参加の2回目のクラス会を開催することが出来た。そして、昨年の「同窓祭」には、特に集まれと号令をかけなかったが11名の参加があった。クラスメートに母校の「同窓祭」には、「E3A」クラス会が開催されるとの連絡が行き渡ったようである。年々、参加者が多くなることを恩師と共にクラスメート全員の喜びとし、クラスの和を拡げていきたい。



母校と共に古希を迎えて

藤沼 稔(30M)

各級が行っているように、我が級も毎年近場で1泊の同級会を実施している。今年は特に会員の殆どが70才の古希を迎えることと同時に偶然にも、寒川で誕生した母校も創立70周年を迎える記念すべき年に当たる為、共に祝い、語り合いたい旨多数の出席者を募るべく呼びかけ17名の参加者を得た。

精神的には若いものの肉体的にはそれなりに劣化も出始めており、安全でのんびりと過ごせる様に送迎バス付き、県内白子のホテルで計画した。5月30日午後姉ヶ崎駅近くの刈米弘君宅に集合、迎えのバスに乗り込み出発、寄り道しながら、また飲みながら再会を喜び一年間の出来事を話し合っているうちにホテル着、早速展望風呂へ。



宴会に先立ち、陶芸を始めた佐藤文俊君が、古希を祝って作った「ぐい飲み」を参加者全員にプレゼント、

にこにこ顔の皆からは、やんやの拍手、次回プレゼントのリクエストの声も出るほどの好評でした。

宴会は海の幸などに舌つづみをうちながら、早速先ほどのぐい飲みで飲む者も。体育系が多かったM30Aの中で、9名が所属し今回6名の参加したラグビー部OBのグループが、母校ラグビー部が千葉県予選で準優勝するなど最近活躍している事に、当時の自分たちの活躍を重ねて大いに盛り上がり喜んでいました。後日、このような話題が発端になり、ラグビー部OBで当時小柄ながらスクラムハーフで大活躍し、現在会社経営している長田孝一君が母校のラグビー部に、選手達が望んでいた新素材のジャージー一式を寄付する事に発展し、試合に着用してもらう事になりました。ラグビー部の更なる活躍を期待します。

宴会の予定時間はあっという間に過ぎ、一次会最後は全員起立しての校歌斉唱。そして部屋に戻ってからも、また全員が集合してしまい深夜まで話はつきなかった。

さて翌日の午前中は、飛ばし屋のゴルファーも勝手が違う初体験のグランドゴルフに興じて一汗かき昨夜のアルコールも消え失せて気分爽快。それぞれ家族へ土産を手に、名残を惜しみつつ一年後の笑顔での再会を約束して解散。

今後も母校の発展と共に、傘寿、白寿と元気で楽しい同級会を継続したいと思います。



31EBクラス会

住田敏和(31E)

卒業後50年が経過して、殆どの級友は69歳になっている。卒業時は38名だったが、7名が亡くなって現在は31名になってしまった。その内「行方不明・郵便不達・無返信」が5名、「体調不良・所用」が11名で、結局5月20日に西千葉の「ひまわり」へ集まったのは15名だった。

18年前に一度やった時には21名が集まったが、あれから5名が亡くなっているから、出席率としてはこんなものか……。

それにしても、みんなようしゃべる。せっかく「カラオケ代込み」で貸切ったのに、近況や思い出話に花が咲いて、誰も歌わない。

予定の2時間半はアッという間に過ぎ、時間延長してもまだまだ続くセッション！。

日が暮れて一般のお客さんが来てしまい、やむなく幹事権限で「強制終了」のアイコンをクリック・・・これじゃあ、朝から集まらないとダメか。

「今度は泊まりで」と言う声しきり・・・何故かみんながこっちを向いている。

オイオイ、又俺が幹事？・・・マ・イッカ。



37E3Cクラス会

新井 昇(37E)

4月2日の千工同窓祭に集まった5人の同級生、和気藹々の会合を楽しんだ後、場所を千楽駅周辺の「東魁楼」に移して、後から集合の7名を加え12人でクラス会を行なった。44年ぶりの人も2〜3人いて顔と名前を確認し「元気だったかー!」の言葉を交わした後、乾杯。すぐに昔に返っての思い出話、最近身の上に起きた第二の人生、孫の話、趣味の話、マスターズに出場してまだ走っているよ、定年後学校の先生をやっているよ、ゴルフの腕が上がったよ、等々時のたつのも忘れて話に花が咲いたが、時間に限りがあり、次回元気に会えることを誓い合い、「久々田の海」の合唱後お開きになった。

後日、不参加者にも写真を送ったところ、「懐かしい顔が写っているのだろうが誰が誰だか判らん」との返事があった。次回のクラス会には是非多数の参加を希望する。生きているうちに出来ないと再会できなくなるぞ。



還暦のクラス会

白井正男(40M)

7月8日(土)梅雨の時期にもかかわらず好天に恵まれ、船橋市の老舗割烹旅館『玉川』に懐かしい顔が集まった。毎回参加してくれた恩師大井勇二先生をお迎えすることは叶いませんでしたが、5年振りの再会です。卒業後初めての参加者もあり盛り上がりました。

村上幹事の挨拶と乾杯。お互いの近況を報告しながらの3時間はあっという間に過ぎ、記念写真を撮り、津田沼校歌を合唱し閉会。

まだ物足りないと言時間延長、二次会はカラオケを楽しむ。皆さん自慢の曲を披露。各人が仕事や趣味で歌を楽しんできたものと思うが、味わいのある歌い方に感心しながら聞きました。皆さんとても上手でした。その後、川村(C組)さんの案内で船橋駅近くの居酒屋に上がり込み、都合のつくメンバーで三次会。次回は何年後?旅行は?ゴルフは?幹事任せのクラス会だけど余暇時間を大いに楽しもうよと、楽しい仲間の集まりです。



32Cクラス会

古宮弘之(32C)

わがクラス会には、ゴルフ、旅行、居酒屋、つり、花見、連絡係などの幹事がいて、個々の行事が開催されています。40歳くらいまでは不定期に5~6回、40歳代より現在まで2年ごとに全体のクラス会を開催しており、常に30名ほどの参加者で、大変な盛り上がりで常に時間延長である。その他、病氣見舞い、葬儀、仲間の情報等は2日あれば連絡が取れるようになっており、常に誰かが対応し、奥さん方のご協力にも感謝しています。60歳頃からは、寂しいのか、仲間が欲しいのか3ヶ月程度に連絡しあい、近場の者が居酒屋で盛り上がり仲間意識を高めており、最近では奥さんを亡くされたS君を励まそうと、「励ます会」を開くなど、酒をたしなみ、お互いに励まし合う素晴らしい仲間である。平成19年は、卒業後50周年のクラス会を開催します。多数の参加を期待しています。



約50年ぶりの「授業」

中山 一(34E)

私達、昭和34年卒電気科(A組B組合同)は、平成5年に34年ぶりに集まって以来、平成12年、17年と計3回の同窓会及び有志による6回のゴルフコンペで旧交を暖めてまいりましたが、この度趣向を変えて研修会を兼ねた一泊旅行を実施いたしました。

平成18年11月7日、訪れたのは東京電力(株)福島第二原子力発電所。45万坪の広大な敷地に4基の原発で440万kwの出力。我々参加22名は日本のエネルギー事情や原子力発

電の機構等を熱心に聴いているうち、いつしか約50年前、母校で机を並べて受けた授業を思い出していました。

その夜、いわき湯本温泉での宴会では思い出話に加え、昼間の研修が酒のつまみになったのは言うまでもありません。

翌日、日本原子力研究開発機構のアトムワールドで更に研修を重ねた後、那珂湊漁港の新鮮な魚料理で昼食をとり、帰路につきました。

尚、見学に当っては東京電力(株)様到大変お世話になったことを付け加えておきます。



ゴルフ同好会に感謝状

8ページのレク同好会の活動報告にあるように、千葉市社会福祉協議会より表彰状をいただきましたので、ご報告します。(編集部)



代表して受賞した、左より篠崎庄一郎さん(25E)と石井孝司さん(30E)のご兄弟

ある千葉工業卒業生の生き様

23C 遠藤百三



私は昭和23年卒業後、58年間生きてきた。初めの15年は東芝、次の31年は自社で、最近の12年は年金暮らしである。

東芝での仕事は、ゲルマニウム半導体の再生並びに高純度化、及び水素還元炉の自動化（半導体産業の歩留まりは一般的に2%以下が普通であり、原料が高価な場合は回収技術がないと成り立たないし、高純度品は汚れを嫌う仕事なので人間・大気からの分離が不可欠となり自動化は必然的な要求になる）で、独立後は磁器コンデンサーの電極に使用する高温焼き付け型銀液の国産化（当時の日本は外貨の獲得が国是で、当時電子部品は輸出の花形商品であったが、その電極に使用されている銀ペーストは輸入品が多く不便であった、そこで私は国産化を志して廃棄物であった銀成分を集め副素材も国産品のみを利用して、国産化した）であった。現在世界中で使用されているリモコンに必要な酸化タンタルの高純化（リモコンの心臓部はリチウム酸タンタルという単結晶の小片である、この技術は大河内賞の対象になった）、LSIなどの回路の成分としての高純度タングステン、モリブデンの開発（回路の幅が0.2ミクロンになると、回路素材中の不純物が電子の流れを妨げるので不純物があってはならない、タン、モリは丈夫な金属なので切断しにくいので利用されはじめた）の仕事は、国内で最初に試作し市販に成功した。平成18年現在でも当社のみが日本で生産可能である。

東芝入社について面白い話をしよう。敗戦後の日本社会はきっと電気関連が中心になって工業社会が展開していくと、考えたので会社の本職は電気、職場は化学が中心であるという、ともかく図々しい希望を就職担当の

先生に依頼した。すると、東京芝浦電気工業株式会社亀戸工場を選んでくれた。会社は電球、ラジオ、発電機などで日本の一流しかも亀戸工場はタングステン精錬工場で完全な化学工場であった。訪問した工場の勤務課職員の話では、混乱しているので仕事は無く、復員してくる元社員の受け入れやらで、新規社員を雇い入れる予定はないと、けんもほろろな扱いであった。当時は労働争議多発の社会状況、会社にとっては鬼より怖い労働組合の委員長が千葉工の先輩であることを偶然にも耳にして、この先輩である組合委員長に相談をすると効果観面で一発採用OKとなり無事東芝社員となれた。私は在学中に、先生や配属将校に結構いびられて卒業したが、この時程千葉工卒に嬉しさを感じたことはなかった。

そして15年後にまたも同窓生の恩恵を受けた。私は操業2年目に火災を出して、当局から営業停止を受けそうになった。いろいろな人に相談をしたら、仕事を続行していれば営業停止命令は出ないだろうとの助言を受けました。大火災ですから消火作業の時にすでに電気は切られており、仕事を継続することなど出来ない状況でした。そこで、当時東電社員であった電気23年卒の高橋正雄さんに相談をした。すると、なんでも理屈がつけば太い線を配線してやるという返事でした。そこで、焦げたモーターや、その他売れるものを処分して資金調達したい、売れるか判断するためにテスト用の電気をという許可を求めたら、担当者は笑いながら簡単に判を押してくれたのである。高橋君はその書類を錦の御旗にしてなんとも巨大なテスト用配線を2時間で仕上げてくれた。翌日県庁の役人が確認の為に、火事跡の視察に来たときは、知らんぷりをして仕事に励んでいたもので、いろいろと言われたが営業停止命令を受けずにすんだ。それから私の仕事は磨きがかかりました。

東芝の先輩と高橋君には頭の上がらぬ理由が77才になった今でも残った。

寄稿「朗読ボランティア」

38C 古川千枝子

文字を追うことの好きな私にとって届けられる会報は楽しみの一つです。国の発展に関わってこられた方々の誇りに満ちた文章や退職後の豊かな趣味の話題など楽しく読ませて頂いています。その文章の向こうに支え続ける御家族の笑顔が浮かびます。

結婚退職が当然でした S41 年、佐倉に嫁ぎ 3 人の男子を授かり、子育てに目も口も手も回り続けて 10 年過ぎ、三男が幼稚園に入園 3～4 時間の自分だけの時間が得られた時の嬉しさは忘れられません。「何か遣りたい！」

目に止まったのが佐倉市広報の「朗読講習会」の募集案内。私の持ち時間にピッタリ。これがボランティアの第一歩です。6 ケ月間の講習は腹式呼吸法、アクセント、イントネーション、プロミネンスと学ぶ楽しさを味わいました。終了後「こおろぎの会」入会、この会は主に、視覚障がいのある方々に、県や市の広報類、書籍などを録音し、届けるグループです。当時の名称は「朗読奉仕グループ」発足して 3 年目の会は録音室も無く、車の騒音や犬の哭声にしばしば中断させられました。聞いて下さる方々の居られる事を励みに 30 年続いています。続けられた最大の理由は「家族が健康」であった事でしょう。妻、母親、娘という役割に悲鳴をあげたい日もありましたが「できる人が、できる時にボランティア」「楽しくボランティア」のモットウの基、活動をしています。録音室も整い、機材も進歩し、届ける媒体もテープから CD へ移りつつあります。計らずも還暦の年に、対象を一般市民へと広げ朗読会や施設訪問のグループ「こおろぎの輪」の立ち上げに関わりました。地域の方々と共に楽しく活動したいと思います。

佐倉に住んで 40 年、星降る夜空も、山鳥の鳴く森も、蜆採りした小川も消えました。86 才の母、夫と息子達に孫 3 人、中婆ちゃんも人気者です。あっち、こっちと引っ張られ

ながら暮らしております。趣味の短歌、花笠踊りといっしょに

三 ころろぎのか細く鳴ける草原に

ためらひ登る臥待月は

— 千勢 —



「こおろぎの会」の皆さん、右端が筆者

寄稿「ハイキングを楽しもう」

30M 関口昌利

日本は古来より信仰登山が盛んに行われてきました。現在でも登山の愛好者は大勢おります。日本は南北に長く、四季を通して、素晴らしい山々が沢山あり、我々登山愛好者を楽ませてくれています。登山は心身をリフレッシュするとともに、怪我や病気の予防にもつながると言われています。

多くの方々が行っているウォーキングはジョギングに比べ体への負担が少ないので、誰にでも安全に出来るということで優れていますが、単調で飽きやすいという点では問題があります。これに対し登山は荷物を背負って坂道を歩くのでゆっくり歩いても、平地の早足以上の運動強度になります。それに自然の中を歩くことで景色を楽しむ事が出来、長時間歩いても飽きることがないと思います。

登山は疲れるからだめだと思われる方も居られるでしょうが、年齢、体力に相応のペースで歩けば良いと思います。登山に慣れた人は、登りで荷物の重さや登山路の傾斜に拘わらず心拍数が 150～160 を超えないと言われています。これは 20 歳代の人の事ですが、

50歳代では120～130、60歳代では110～120、70歳代では105～115を超えないペースで歩く事が良いと言われていますが個人差がありますので、絶対的な数値ではありません。

駅の階段は約25度ですが、登山道で25度は急傾斜の部類になります。階段を登るスピードで歩きますと、1時間に700～800メートルの標高差を登る計算になります。普通登山の場合1時間に300メートルくらいと言われていますので、二倍半も早い事になります。ちなみに日本の一般登山道では急なところで25度位、まれに30度近い所もありますが、ほとんどの所はそれ以下です。また忘れてならない事は、登りでは心拍数が上がり、下りの場合筋肉の疲労感はそれほど感じません。下りは楽だと思いがちですが、実は筋肉の損傷が大きいのは下りなのです。下山した後、当日或いは数日後に痛みが出るのは筋肉細胞が壊れた事によるものなのです。又転倒事故は登りでは殆ど無く下りの時が圧倒的に多いのです。私の知人ですが、3月に西穂高岳の下りで転倒し、沢に落ちて亡くなっています。下りは気をつけなくてはなりません。ハイキングを快適にするために、下りはゆっくり歩き、歩幅を小さくし、足にかかる着地衝撃を少なくすること、自分に合った靴を選ぶこと、それにウォーキングストックを使う事、他にウェアは吸汗速乾性に優れたインナー、保温性のあるミッドウェア、雨風等防水性耐水性に優れたアウターを着用することをおすすめします。

(参考資料として「快適な登山のためのハンドブック」を使わせていただきました)

ハイキング同好会 ご案内

① 市川～柴又史跡散歩

4月5日(木)

② 大月猿橋方面 百蔵山、扇山

12月6日(木)

問い合わせ・参加申し込みは
関口(TEL 043-227-1507)まで

記念誌・DVD作成について

山下 昇(47E)

本校が創立70周年を迎え、記念誌を発行することになりました。

私は、昭和47年に電気科を卒業し、12年前母校に教員として着任し勤務しております。幸運なことに10年前には60周年記念、そして今回の70周年記念の事業に関わることができました。

今回の70周年記念事業では、記念誌の作成を担当することになりました。昨年度、同級である前任の渡辺裕治教頭先生より作成の構想におきまして指導を仰ぎ、できるだけ作成費用をかけないで、しかも多くの方が見てくれるように画像を主体とした特別な記念誌を作成することになりました。

本校の歴史につきましては、情報技術科の相澤先生を中心とした先生方のご理解・ご協力によりまして映像化してDVDも作成することになりました。

映像化するには、各年代における写真や資料が沢山なくてはできません。そこで、同窓会支部の皆様にご協力をお願いしましたところ、多くの先輩方より快く貴重な写真や関係資料などを提供していただき本当に助かりました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

写真等は、デジタルデータ化、編集作業と、予想以上の時間と労力がかかりました。完成は3月8日の卒業式を予定しております。完成しましたら是非ご覧いただきますようお願い申し上げます。

先日、創立70周年記念式典及び祝賀会が無事終了し、ホッとすると同時に母校の新しいページがまた開かれたような気がしております。これからも、いろいろな面で学校も生徒も変化していくことと思いますが、私も同窓会の一人として後輩の活躍を期待しつつ、応援して行きたいと思っております。

* 写真は、4ページの植樹祭(左端)

平成18年度進路状況

就職内定 115人 (求人 881社 1146人)

㈱朋栄、東レ㈱千葉工場、セイコーインスツル㈱、極東石油工業㈱、宇部興産㈱高分子研究所、㈱日立メディコ柏工場、㈱フジクラ佐倉事業所、住友建機㈱、黒田精工㈱富津工場、新日本製鐵㈱君津製鉄所、JFEスチール㈱東日本製鉄所、㈱関電工、㈱沖電気カスタマアドテック、小池酸素工業㈱、東日本旅客鉄道㈱、三井造船㈱千葉工場、TDK㈱テクニカルセンター、㈱丸山製作所千葉工場、㈱日本AEパワーシステムズ、(財)千葉県薬剤師会検査センター、高輪プリンスホテル、関工電設工業㈱、東電環境エンジニアリング㈱、東電工業㈱、城南電設企業㈱、酒井医療㈱、㈱日本テクノス、アールアイソフトウェア㈱、コスモペトロサービス㈱、㈱日経東京製作センター、他・順不同

進学内定 大学48人 短期大学13人

東京電機大学、千葉工業大学、日本大学、東京情報大学、千葉職業能力開発短期大学校、他・順不同

専門学校37人

日本自動車大学校、千葉県自動車大学校、読売自動車大学校、日本工学院八王子専門学校、東京コミュニケーションアート専門学校、日本電子専門学校、他・順不同

母校ホームページ

母校のホームページに、創立70周年記念行事をはじめ各種記事が掲載されています。学校行事、部活動報告、PTA活動、同窓会活動等。

OB による校歌・千工マーチの演奏も動画で見ることができます。

同窓会報16号・17号も掲載されています。

<http://www.chiba-c.ed.jp/chiba-th/>

ホッと・ニュース

①「ラグビー県大会決勝戦」

ラグビー部の活躍が続いています。10ページにも紹介されているように「全国大会千葉県予選の決勝戦」が、千葉テレビで放映されました。「頑張れ！千葉県高校ラグーマン！」千葉工業同窓会も応援しました。



②「スーパー紙とんぼの会」

「竹とんぼ」のメンバーでもある鎌形武久さん(33C)の「スーパー紙とんぼの会」の活動がテレビで紹介されました。今回は9月30日(土)の日本テレビ「ぶらり途中下車の旅(JR総武線)」で、ナレーターの「ほとんどの方が元技術者、定年を機に小学生に紙とんぼを



教えている・・・みなさんが伝えたいのはモノ作りの楽しさ」という、コメントがありました。

③「J:COM木更津」の新春座談会

「2007新春座談会、がんばれ木更津、街づくりで今できること」という番組が、お正月の木更津のケーブルテレビで繰り返し放映されました。地元木更津で街おこし事業・



地域活性化を实践する「かずさ交友倶楽部」代表の石田雄一さん(33C)が参加して、駅前開発のアイデアを披露しました。

恒例「スーパー竹とんぼ教室」案内

主催 千葉竹とんぼ倶楽部

(千葉工業同窓会)

日時 平成19年4月1日(日)9時~11時

場所 県立千葉工業高校 会議室

参加費は無料です

(材料、道具は倶楽部で準備)

今年も、いつものように同窓祭の前に「スーパー竹とんぼの作り方教室」をおこないます。ご家族を含め大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

東葛支部「バーベキュー大会」

土屋孝夫(34M)

東葛支部恒例の行事「バーベキュー大会」が18年10月22日妙典駅の江戸川河川敷でおこなわれました。ここ数年天候不良で中止、3年ぶりの秋空の下で開催となりました。

三々五々と集まる支部会員は、まず関所で通行料(本日の会費)を支払って、木間副支部長と奥様の特製の会場へなだれ込みました。そこへ特別参加の千葉西の石井支部長が一升瓶を抱え参加。さらに千葉東の嶋村支部長が娘さんとお孫さんを伴って一緒に仲間入りをされた。周辺は女性連れが多かったが、当方も皆様の参加で和やかな雰囲気となり、会場がますます盛り上がりしました。

この同窓会組織、先輩後輩、支部を超えて別け隔てのないお付き合いのできるのは素晴らしい事だと思いました。



各地域支部定期総会開催予定

支部名	地 域	
	開催月日	開催場所
南 総	君津郡市・袖ヶ浦以南	
	3月11日(日)	木更津市民会館
北 総	四街道以北・八街・印旛・香取	
	6月3日(日)	八街・かどや
市原市	市原市全域	
	5月27日(日)	サンプラザ市原
千葉市中	中央区全域	
	7月8日(日)	ポートプラザちば
千葉市東	若葉区・緑区	
	6月17日(日)	新千葉平成館
千葉市西	美浜区・花見川区・稲毛区	
	4月21日(土)	ポートプラザちば
外 房	東金・茂原・山武・勝浦・長生・夷隅	
	4月8日(日)	東金・八鶴亭
京 葉	船橋・習志野・鎌ヶ谷・八千代	
	5月13日(日)	玉川旅館
東 葛	市川以北・浦安・流山	
	6月10日(日)	八幡会館

*いずれの会場も、午後1時受付の予定です。

郵便振替の手数料を個人負担に・・・

誠に申し訳ありません。今まで郵便振込の手数料は同窓会負担となっていたましたが、今回から個人負担とさせていただきます。郵便振替の手数料が、窓口取扱とATM装置の利用とで手数料に差異があつて、事務処理が複雑になってしまうため、ご協力願います。

取扱金額10,000円まで、窓口100円、ATM装置だと60円の手数料です。同窓会報基金及び同窓祭参加費を振込んでいただく時には、窓口ではなくて出来るだけATM装置を利用して下さい。

詳しくは、郵便局の窓口におたずね下さい。

前回は吹奏楽部のOBと現役の合同ミニコンサートで、盛り上がりました。さて、今年はどのような仕掛けがあるのでしょうか。いつものように9時から「スーパー竹とんぼ教室」も開催します。懐かしい恩師の先生方も大勢お見えになります。クラスメートはもとより、クラブ活動、通学を共にした仲間を誘い合って参加されますようご案内します。

同封の振込用紙にご出席の有無を記入して、会費及び同窓会報基金を3月15日までに送金願います。また、その近くにならないと都合がつかない場合は、当日会場で受付致します。その後の同窓会報基金の振込は、いつでも何口でも歓迎致します。

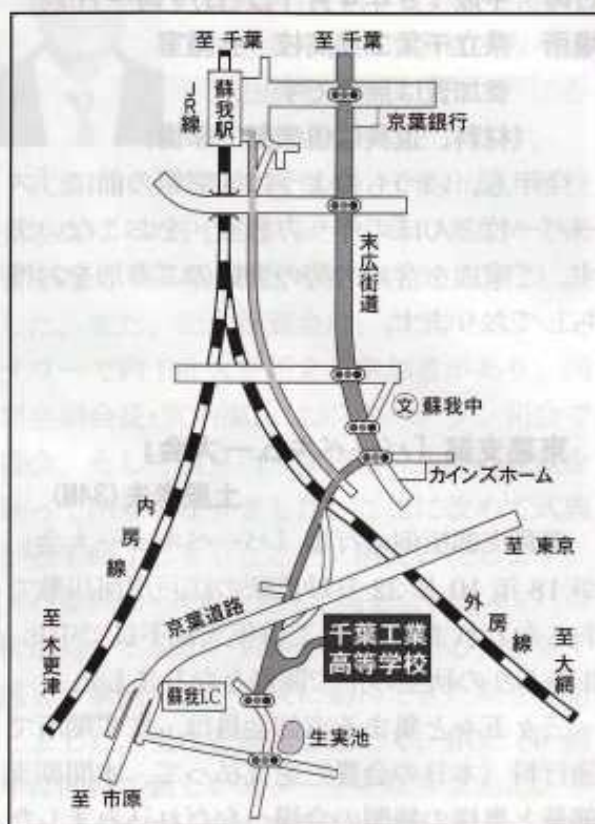
日時 4月1日(日) 11:30~14:30

会場 千葉工業高等学校 食堂

会費 1,000 円(振込用紙にて)

- ・卒業5年以内の同窓生と、ご家族のうち18才未満の方は無料です。
- ・喜寿のお祝いを予定しています。生年月日の記入をお忘れなくお願いします。

- ・JR蘇我駅より徒歩20分、小湊バス、蘇我駅の西口から「八幡宿駅行き」があります。10:28、10:58「千葉工業高校」下車



編集後記

創立70周年の吹奏楽部記念演奏会を聴いた在校生が「鳥肌がたった」と感激したそうです。「千工マーチ」を知らない卒業生も多くなっているのが残念です。「千工マーチを再び」の記事を読んでもいただき、「鳥肌のたつ」思いを味わってください。

創立70周年の記事を中心にまとめましたが、「クラス会だより」が多く届きました。各クラスの「千工魂」に紙面が圧倒されそうです。今後とも多くのクラス会を紹介したいと。

思いますので、寄稿をお願いします。

盛り沢山の内容で、編集作業が混乱してしまい、多少きゅうくつな紙面になったようです。出来上がりが心配です。

12名の広報編集委員をご紹介します。

副編集委員長：渡辺武雄(30M)、事務局長：大塚昌男(46E)、委員：関口昌利(30M)、井上誠一(33E)、宇野昭房(34M)、大野繁樹(36M)、滝口貞一(40E)、鈴木晶蔵(42E)、橋本 勇(42E)、大橋政孝(54E)、溝口孝博(H3EM)、編集委員長：長谷川敏一(39M)

題字 安藤 信吉

千葉工業同窓会報

第18号

発行日 平成19年3月1日

発行者 千葉工業同窓会 会長 安藤信吉

事務局 〒260-0815

千葉市中央区今井町1478

千葉県立千葉工業高等学校

TEL 043-264-6251 FAX 043-268-5524